

「東郷青児・斎藤真一—それぞれの女性像—」展の開催について

S O M P O 美術館が所蔵する東郷青児(1897-1978)の作品と、倉敷市立美術館が所蔵する斎藤真一(1922-1994)の作品を展示し、市民の美術に関する知識や関心を高め、地域の文化活性化に寄与することを期して開催する。

1 開催日時

令和4年10月22日(土)～12月18日(日)

休館日：月曜日

2 開催場所

倉敷市立美術館 2階 第2・第3展示室

3 主 催

倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市立美術館、山陽新聞社

4 展示内容

(1) 東郷青児作品 【初期から晩年までの油彩画約50点と素描約20点】

東郷青児は、デフォルメが施され、柔らかな曲線と色調のあるモダンな女性像で、戦後に一世を風靡した画家

(2) 斎藤真一作品 【瞽女(ごぜ)を描いた油彩画20点ほか】

斎藤真一は、倉敷市出身の画家で、北陸地方を旅して取材した盲目の女性旅芸人である瞽女(ごぜ)を、哀感に満ちた独特の女性像に描いて人気を博した。

5 会期中の催し

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：11月6日(日)、12月4日(日) 14時～

6 その他

令和3年2月10日に損害保険ジャパン株式会社と倉敷市は『地方創生に係る包括連携協定』を締結しました。この協定に基づき、S O M P O 美術館が所蔵する東郷青児の作品の展示が実現されました。

倉敷市・損保ジャパン包括連携協定締結記念

東郷青児・斎藤真一

—それぞれの
女性像—



東郷青児「望郷」 1959年 油彩・キャンヴァス SOMPO美術館蔵 ©Sompo Museum of Art,22017



斎藤真一「星になった替女(みさお替女の悲しみ)」
1971年 油彩・キャンヴァス 倉敷市立美術館蔵

2022年
10/22_土 » 12/18_日

●開館時間／9時～17時15分(入場は16時45分まで、初日は10時開場) ●休館日／月曜日

倉敷市立美術館
第2・第3展示室

観覧料	■ 一般	800円(700円)
	■ 65歳以上・高校・大学生	600円(500円)
	■ 小・中学生	200円(100円)

※()内は20名以上の団体料金
※倉敷市内の小中学生はいぎきバスポートまたは生徒手帳の提示で無料
※高梁川流域バスポートを展示した小学生は無料(平日を除く)
※心身障がい者とその介護者1名は無料

■主催／倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市立美術館、山陽新聞社

■後援／岡山県、岡山県教育委員会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送、oniビジョン、FMくらしき、FM岡山、レディオモモ

■特別協力／損保ジャパン、SOMPO美術館

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展覧会の会期が変更となる場合があります。

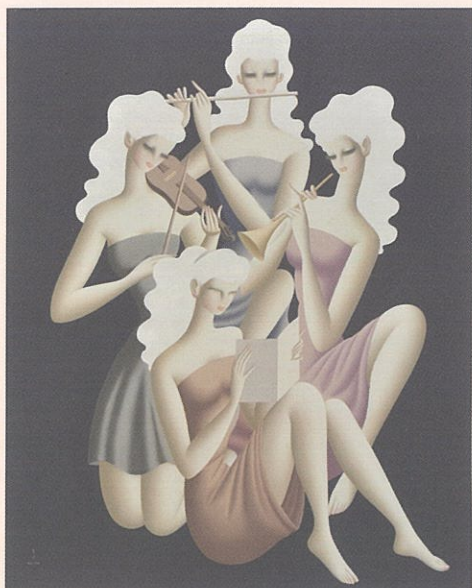


倉敷市立美術館

Kurashiki City Art Museum

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam/>

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL086-425-6034



東郷青児「四重奏」
1955年 油彩・キャンヴァス
SOMPO美術館蔵(損保ジャパンより寄託)



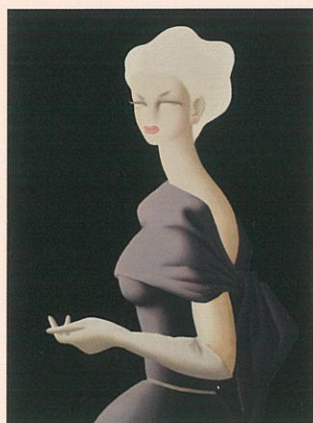
東郷青児「レダ」
1968年 油彩・キャンヴァス SOMPO美術館蔵



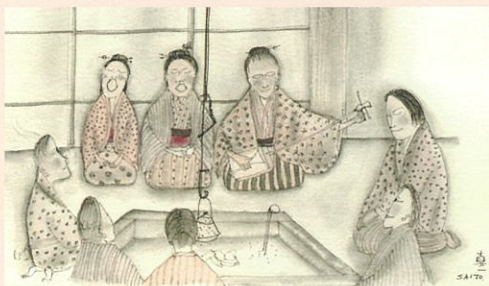
東郷青児「窓」
1929年 油彩・キャンヴァス
SOMPO美術館蔵



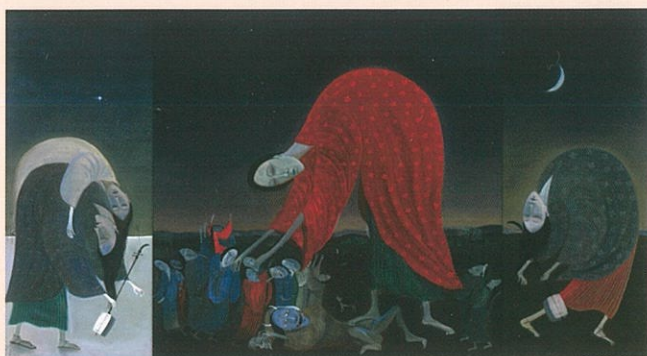
東郷青児「パラソルさせる女」 1916年 油彩・キャンヴァス
SOMPO美術館蔵(一般財団法人陽山美術館より寄託)



東郷青児「バイオレット」 1952年
油彩・キャンヴァス
SOMPO美術館蔵(損保ジャパンより寄託)



斎藤真一「越後贅女日記 佐兵家の集」(部分)
1970年頃 水彩・紙
個人蔵



斎藤真一「星・陽・月」
1975年 油彩・キャンヴァス
倉敷市立美術館蔵

東郷青児(1897-1978)は、長くフランスに留学し、戦後は柔らかな曲線と色調、デフォルメされた形態の夢見るようなモダンな女性像で一世を風靡しました。また倉敷市に生まれた斎藤真一(1922-1994)は、北陸地方を旅して取材した盲目の女性旅芸人である瞽女(ごぜ)を、哀感に満ちた独特の女性像として描き人気を博しました。

この度の展覧会は、令和3年に倉敷市と損保ジャパンが、『地方創生に係る包括連携協定』を締結したことを記念して開催するもので、SOMPO美術館のご協力により、同館収蔵の東郷青児の初期の滞欧作から晩年までの油彩画約60点、素描約20点を展示します。あわせて倉敷市立美術館が収蔵する斎藤真一が瞽女を描いた作品等をご覧ください。稀代の洋画家二人が描いたそれぞれの女性像の魅力をお楽しみください。

担当学芸員による ギャラリー・トーク

11月6日(日)、12月4日(日)。
いずれも14時から約40分間。
当日の観覧券が必要です。



JR倉敷駅下車、中央通りを南へ徒歩10分
路線バス「大原美術館前」下車徒歩1分
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam/>



倉敷市立美術館
KCAM Kurashiki City Art Museum

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL086-425-6034